

【書く・なぞる】俳句 正岡子規 二

今朝の秋 何やらゆかし ずぶむしよ

松の葉に かかるしらゆき 見て通る

葛の花 踏みしだかれて 色あたらし

痰一斗 糸瓜の水も 間にあはず

大根引 大根で道を 教えけり